

主な新機能

フォーカス補助機能

最適なピントの位置を知らせる機能です。焦点が合ってくると画面右下のフォーカスバーの高さが上がります。バーの高さが一番高い所が合焦位置です。焦点の合う位置が肉眼では分かりにくい対象物でも、最適な焦点位置を教えてくれるので、容易にシャープな画像が得られます。



ヒストグラム表示

AE(自動露出)のメニューに、デジタル画像の露出やコントラストを判断する上で大変便利なグラフ、「ヒストグラム表示」が追加されました。ヒストグラムの状態を確認しながら、露出が調整できるので、意図したとおりの画像が得られます。



注目の先進機能

自動距離測定機能

表示中の画像や撮影した画像のエッジを検知し、エッジ間の距離を自動計測。エッジ検知の基準を変更することで様々な状態の被写体に対応可能です。設定は保存できるので、連続測定も楽々。



バーコード読み取り機能

2次元コード(QRコード)やバーコードを画面上に表示させるだけで、コードを読み取ります。通常の大きさのコードだけでなく、Dino-Liteの特徴を生かして極小のコードも読み取れるので小さな部品にコードを組み込み部品管理するなど、応用の可能性が広がります。



円の中心間距離自動測定

計測機能で描いた円と円との中心線を自動で計測します。基板の中でチップ間やコンデンサー同士の正確な距離を測ることが出来、作業効率が飛躍的に向上します。

自動判別機能

自動計測された距離データに対して判別のルールを設定できます。例えば、製品検査で製品の大きさが設計精度内に収まっているかどうか、製品を画面に表示させるだけで、一瞬で判別が可能です。検品作業などの効率向上に大きく貢献します。



IPカメラ機能

USBマイクロスコープの画像を他のパソコンで遠隔からも見る事ができます。LANやインターネットを介して、撮影画像を共有することができます。例えば、遠隔で医師と患者が画像を共有したり、先生が学生の実験を見る、などに使用することができます。



インターバル撮影機能

細かな設定ができるインターバル自動撮影機能を搭載。撮影していない間はLEDの消灯も可能になりました。インターバル撮影に全カメラに適用モードを追加。複数のUSBマイクロスコープを使う場合、撮影をシンクロできます。

充実の基本機能

1. 豊富な測定機能

静止画だけでなくビデオも距離測定可能です。豊富な描画ツール(6種類)と測定ツール(11種類)が使えます。測定、テキスト、描画などの付加情報について、編集、変更、削除が可能、しかも測定データはエクセルにエクスポートできます。

2. 充実した表示機能

観察画面や撮影画像に、グリッド線、グリッド円、十字線、自由に移動できるスケール付きの十字線、固定長、なげなわ、色平均、が表示可能。対象物のレイアウトや測定に便利です。描画や測定ツールを使用したデータも表示可能。データはレイヤー化されているので自由な位置に配置を変更できます。

3. 複数のUSBマイクロスコープ同時使用と管理機能

最大8台までのUSBマイクロスコープを一台のPCに接続、それぞれのウィンドウで起動可能です。研究の効率やスピードアップに貢献します(複数台の同時使用には高スペックパソコンのご利用をお勧めします)。フォルダ機能により、USBに接続したカメラごとに別々のフォルダに保存できます。またカメラ毎に名前を付けることができます。複数のUSBマイクロスコープを使う場合、保存するフォルダをカメラ毎に管理したり、どのカメラでとったのが管理できるので便利です。

4. キャリブレーション機能

キャリブレーションを利用することにより、より高精度での測定ができます。キャリブレーションのプロファイルは、モデル別や倍率別に複数作成可能なので、状況に応じて正確な測定が可能です。

5. 使い易いインターフェース

メニューのアイコン化により使い易い直感的なインターフェースを実現。画面表示やメニューは完全日本語化。数十ページに及ぶ詳細な日本語マニュアルをヘルプメニューに内蔵しました。

6. 自動露出と自動画質コントロール

自動露出に加え、より高度な自動画質コントロール機能を搭載。実際の色により近い自然な色合いを表現します。また、使用用途に応じて、きめ細かなカメラ画質の調整が可能です。またホワイトバランスモードを選択できるので、意図した色合いにより近い画像が得られます。自動露出機能によりLEDの明るさを調節することなく、常に適正な明るさの画像が得られます。

7. OLE 機能 (他のアプリケーションとの互換機能)

例えばサムネイルをドラッグして、撮影画像をデスクトップに貼り付けたり、直接フォトショップなどの画像ソフトで表示したりできます。計測したデータをエクセルにエクスポートできるので、エクセルで保存や編集も可能です。撮影データはJPGまたはBMPで保存されるので、レポートや報告書などにそのまま利用できます。

8. 位置情報 (ジオタグ) 記録機能

外部GPS機器と連動してその場所の位置情報を画像に記録(ジオタグ)できます。画像撮影時の正確な位置が記録できるので、画像整理や証拠に役立ちます。ジオタグをサポートしている地図サービスや地図ソフトとの連携も可能です(ご利用には外付けのGPS機器が必要です)。

9. 透明度調節機能

画像の透明度を調節できます。通常は画像が重なると下の画像は見えなくなりますが、透明にすることにより、重なっても画像を確認することができます。マウスのホイールで簡単に透明度の強弱を調節できます。また測定プロパティで測定情報の不透明度の度合いを変化させられます。

10. 暗い被写体への対応

被写体への光量が十分ではない(低輝度)の場合、露出時間をさらに長くして適正な露出を得ることができます。

11. デジタルズーム

モニター上のライブ画像をワンタッチで拡大(2倍)することができます。これにより拡大率を実質2倍に引き上げることができます(解像度2592x1944モデル、及び1280x1024モデル)。また、拡大鏡機能を利用し、マウスカーソル部分の画像を2x~8xにズームできます。

12. ノブモーター (焦点 / 倍率 自動操作)

ノブモーターを接続し、マウスの左右ボタン、またはコントローラーでノブモーターを操作できます。手動で合わせるのに比べ正確なピント合わせや倍率調整が可能になります(ご利用には「ノブモーター」が必要です)。

※ Mac用ソフトはWindows用ソフトと機能が異なります。

※ モデルにより使用できない機能があります。

※ TVモデル、Portableモデル、モニターモデルはソフトの使用が出来ません。